

Tidal Enterprise Scheduler : ジョブ コントロール サブメニュー オプション [Cancel/Abord] および [Cancel/Abort All]

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[違いは何をキャンセル/打ち切るのとキャンセル/打ち切るすべてですか。](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Job Control Submenu コマンドの Cancel/Abort と Cancel/Abort All の違いについて説明します。これらのコマンドはジョブの利用 > ジョブコントロールを選択するとき利用できます。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Tidal Enterprise Scheduler バージョン 5.3.1 以降に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[違いは何をキャンセル/打ち切るのとキャンセル/打ち切るすべて](#)

ですか。

コマンドの両方は指定生産 スケジュールのジョブだけに影響を与えます。 キャンセル/打ち切るはすべて多数の例があるジョブに適用します (ジョブを繰り返す)。

- **取り消しは/abort** —またはジョブが生産 スケジュールで動作することを防ぐか、停止する。
- **全キャンセル/打ち切る**は生産 スケジュールの実行から完了しなかったジョブのすべての例を防ぎます。すべて『Cancel』を選択したり/打ち切るとき選択されたジョブの依存をリリースするために、かどうかが選択できます。 リリースすることを選択する場合依存したジョブは取り消すか、または打ち切るジョブにもはや依存していません。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)